

# 地域再生計画書

## 1．地域再生計画の名称

山間集落・森林がめざめる町づくり計画

## 2．地域再生計画の作成主体の名称

山形県

山形県飽海郡八幡町

## 3．地域再生計画の区域

山形県飽海郡八幡町の全域

## 4．地域再生計画の目標

八幡町は、庄内平野の北東に位置し、秀峰「出羽富士」鳥海山を望み、イヌワシの飛翔に象徴されているように豊かな自然が残っている町で、農林業を基幹産業とした農山村地域である。町には、この鳥海山から流れ落ちる日向川と出羽山地に源を発する荒瀬川が西進して流れ、この河川沿いに耕作地と集落が形成されている。

平成15年3月に策定の第4次八幡町総合計画では、「自然が育む豊かな心、ふれあいの町八幡」を将来のまちづくりのテーマと定め、先に策定した「山の恵みいただく水の郷」構想を心の拠りどころとしている。

この方針に基づき、近年は観光施設が整い、鳥海山の麓に鳥海高原家族旅行村や宿泊施設鳥海山荘ができ、鳥海山の登山口になっている湯ノ台登山口には毎年千人を超える登山客が訪れている。また、平野部には八森温泉「ゆりんこ」や産直「たわわ」が建設され、地場産品や自家菜園の新鮮な野菜や花をはじめ、取れたての山菜が販売され、町外からも多くの人々が訪れている。

八幡町の総面積は204.76km<sup>2</sup>で、そのうち町土の85%を占める森林原野の土地利用においては木材生産等の経済的機能の発揮及び町土保全・水資源の涵養・自然環境の保全・レクリエーション機能など公益的機能を総合的に発揮できるように、必要な森林保全を図ることにしている。民有林においては、人工林率が76%と高く、豊富な森林資源を有している。また、山菜が豊富であり、特に国有林野では5～6月にかけて鳥海筍のシーズンになると2千人余が入山している。

昨今の地球温暖化問題にはじまり、水源涵養や災害の防止など、森林の多面的な機能の発揮が叫ばれる中、町においては今回の林道を交付金によって整備することにより荒れた森林の整備、林業界における雇用の確保を目指す。また、この林道と平野部を結びつける町道を合わせて整備し、本町の豊かな森林を平野部の観光事業と連携し、交流人口の増加、

小中学生をはじめとする町民の森林に対する意識の高揚が期待され、森林に親しみ、重要性を学ぶとともに、都市の上流部に位置する山村の森林に対する興味を多くの人に喚起していきたい。

(目標1) 地域の振興(林業をはじめ、森林と観光のタイアップなど)

【入込者数の増加:年間 10% 1,000人の増加】

(目標2) 道路ネットワークの構築(日向地区と大沢地区の交流)

【移動時間の短縮:10分】

## 5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

森林の有する多面的な機能の発揮を図る観点から、森林整備は欠かせないものである。

この取り組みを推進するため、大沢地区と日向地区を山越えで結ぶ林道大蕨赤剥線おおわらびあかはげの整備を行うことで、利便性が向上し、造林の活性化をはじめ、観光事業とのタイアップした山菜取り体験や森林学習などのレクリエーション効果も望まれる。さらに、本林道に接続する道幅が狭小な町道後口山線うしろやまの改良を行うことで、さらに効果を高めるものである。

このように本計画は、地区の町道、林道を一体的に整備し、国道と県道と地域を連結することで、活力ある農山村地域の再生を目指すものである。

なお、町道後口山線は昭和57年 3月10日に町道認定を受けている。

林道大蕨赤剥線、森林計画書に掲載 平成10年 4月 1日発行

(5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

町道

- ・事業主体 八幡町
- ・施設の種類 町道
- ・事業区域 八幡町
- ・事業期間 平成21年度
- ・事業費 2千万円(うち交付金1千万円)
- ・整備量 L=0.2km

林道

- ・事業主体 八幡町
- ・施設の種類 林道

- ・事業区域 八幡町
- ・事業期間 平成17～21年度（5年間）
- ・事業費 1億4千2百万円（うち交付金6千1百万円）
- ・整備量 L=3.2km

#### 総事業費

1億6千2百万円（うち交付金7千1百万円）

### （5 - 3）その他の事業

#### 山菜や森林を活かした観光事業。

林道利用区域内には公有林や共有林、地元林業者の林が混在しており、多様なニーズに応えられる環境下にある。そこで、道路の改良を行うことで、一般車両が森林に入りやすくなることから、民有林に森林オーナー・「観光わらび園」等開設により、自然の中で山菜をとり、森林を活かした地域の活性化につながるよう図りたい。

#### 自然を生かした教育

道路が整備されることで大沢・日向地区の連絡道路として活用され、地元大沢小学校では「森林探検隊」を編成し、自然を生かした森林学習や公民館主催の体験学習など住民との地域交流を図っていききたい。また、災害時には迂回路としての役割も発揮できる。

### 6．計画期間

平成17年度から平成21年度

### 7．目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い、状況を把握・公表するとともに、関係行政機関と地元住民等関係者からなる「地域再生協議会」を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

### 8．地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し